

## 発生動向の概況

**インフルエンザ**の定点当たり報告数は、第36週4.85人から第37週12.07人と急増し、1999年の感染症法施行以降最も早い時期に県全体で注意報の基準値(定点当たり10人以上)を超えました。特に今治保健所、宇和島保健所で顕著に増加しており、宇和島保健所では35.00人と警報の基準値(定点当たり30人以上、継続は10人以上)を超えているほか、今治保健所でも29.63人と警報の基準値に近い値となっています。年齢別にみると、5～19歳が第35週106人(57.3%)から第37週566人(76.9%)と5.3倍に急増しています。迅速検査の結果ではウイルス型別が判明した症例のうち98.8%がA型でした。新型コロナウイルス感染症流行前には例年12月から3月にかけて流行する傾向にあったため、これから冬にかけてさらに感染が広がる恐れがあります。引き続き、場面に応じたマスクの着用や咳エチケット、こまめな手洗い等の感染対策を徹底しましょう。

**新型コロナウイルス感染症**の定点当たり報告数は、第36週19.30人から第37週16.41人と減少しましたが、地域別にみると今治保健所、中予保健所では増加しています。年齢別にみると10～14歳で増加しており、学校等の集団生活を通じた感染の広がりが懸念されますので、定期的な換気やこまめな手洗いといった基本的な感染対策を励行しましょう。高齢者等の重症化リスクが高い方は、人混みを避けマスクを着用するなど感染回避行動を心掛けましょう。

**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は、第36週2.49人から第37週2.27人と減少しましたが、依然として過去10年の同時期では最多となっています(過去10年平均:0.22人)。地域別にみると今治保健所、松山市保健所で多発しているほか、中予保健所でも多い状況です。幼稚園、保育園等の集団生活を通じた感染拡大が懸念されますので、液体せっけんと流水での手洗いを励行するとともに、タオルやコップの共用は避けましょう。

**手足口病**の定点当たり報告数は、第36週0.62人、第37週0.81人と横ばいで推移しています。新型コロナウイルス感染症流行前は夏季に流行がみられる傾向にありましたが、2021年以降は秋から冬にかけて報告数の増加がみられているため、今後の動向に注意が必要です。感染予防のため液体せっけんと流水での手洗いを励行しましょう。

## 県内での感染症発生状況

全数把握感染症 医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

- 二類感染症 : 結核 6例
- 四類感染症 : 日本紅斑熱 2例(70歳代女性2例)  
マラリア 1例(熱帯熱マラリア、50歳代男性、国外(ウガンダ)での感染)  
レジオネラ症 2例(50歳代男性、80歳代男性)
- 五類感染症 : カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2例(70歳代男性2例)  
梅毒 3例(20歳代男性、30歳代男性、40歳代男性 2023年県内累計100例)  
播種性クリプトコックス症 1例(70歳代女性) 百日咳 1例(30歳代女性)

\*その他、第35週に梅毒の届出が1例、破傷風の届出が1例ありました。

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
インフルエンザ	↗ 12.07	急増。今治、宇和島保健所で著増。宇和島保健所で警報レベル。
新型コロナウイルス感染症	↘ 16.41	減少。今治、中予保健所で増加。四国中央、西条保健所は他保健所に比べ多い。
咽頭結膜熱	↘ 2.27	減少。今治、松山市保健所で多発。中予保健所で多い。

解析評価委員のコメントから

- インフルエンザ : [東予] 今治市で急増しています。A型です。 [中予] 増えています。  
[南予] 著明に増加しています。
- 新型コロナウイルス感染症 : [東予] 全年齢で流行っています。 [中予] 中予地区で増えています。  
[南予] 減少傾向です。
- 咽頭結膜熱 : [東予] 特に今治市で流行しているようです。熱だけ、結膜炎だけのアデノウイルス感染もよくみられます。 [中予] 横ばいです。 [南予] 少数発生しています。

過去30週の動向 (○: 過去30週の動向、●: 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。  
感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.lg.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.lg.jp) までお願い致します。

## 病原体検出情報

令和5年9月19日現在

第33週から第36週に西条及び中予で採取されたインフルエンザ患者検体からインフルエンザウイルスAH3型が4例検出されました。また、第34週に松山市で採取されたインフルエンザ患者検体からインフルエンザウイルスAH1pdm09型が1例検出されました。なお、第37週に今治で採取された集団発生事例の患者検体からインフルエンザウイルスAH3型が5例検出されています。

第35週に松山市で採取された咽頭結膜熱患者検体から、アデノウイルス3型が1例検出されました。アデノウイルスの3型は咽頭結膜熱やアデノウイルスによる呼吸器疾患で主に検出される血清型です。

過去5週 検出病原体

(2023年8月14日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
33	8/14~8/20	西条	インフルエンザ	インフルAH3	咽頭ぬぐい液	2
34	8/21~8/27	松山市	インフルエンザ	インフルAH1pdm09	咽頭ぬぐい液	1
35	8/28~9/3	西条	インフルエンザ	インフルAH3	咽頭ぬぐい液	1
		松山市	咽頭結膜熱	アデノ3	咽頭ぬぐい液	1
36	9/4~9/10	中予	インフルエンザ	インフルAH3	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

臨床診断別検出結果(2023年7月以降採取検体)

検体採取月		2023						合計
検出病原体		4	5	6	7	8	9	
ウイルス	コクサッキーA2	2		4	1			7
	コクサッキーA4					1		1
	コクサッキーB5				1			1
	エンテロ71			1				1
	ライノ		1	1	1	1		4
	インフルAH1pdm09			1		1		2
	インフルAH3	6	4	4	13	5	1	33
	アデノ3					1		1
ウイルス計		8	5	11	16	9	1	50
細菌	サルモネラO4				1			1
	カンピロバクター		1					1
	A群溶レン菌		2					2
細菌計			3		1			4

検出病原体	インフル エンザ	咽頭 結膜 熱	感染性 胃腸 炎	手足 口 病	ヘル パン ギー ナ	合 計
コクサッキーA2					1	1
コクサッキーA4					1	1
コクサッキーB5					1	1
ライノ				1	1	2
インフルAH1pdm09	1					1
インフルAH3	19					19
アデノ3		1				1
ウイルス計	20	1		1	4	26
サルモネラO4			1			1
細菌計			1			1

注) 表中の検出数は9月19日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。  
咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

## 新型コロナウイルスゲノム解析結果

第36週、第37週に実施したゲノム解析ではBA.2系統群が24例検出され、そのうち19例がXBB系統でした。

月別ゲノム解析結果

(2023年7月以降採取検体)

検査結果 検体 採取月	オミクロン株						合計
	BA.2系統群					BA.5 系統群	
	BA.2系統	BN系統	XBB系統	XBL系統	XBC系統	BQ系統	
7	3		81	2	2		88
8	4	2	62		1	1	70
9							
合計	7	2	143	2	3	1	158

注) 表中の検出数は9月19日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。  
BA.2系統はBA.2.x、CJ.x、CH.x、FK.xを、XBB系統はEG.x、EU.x、FL.x、FU.x、FY.xを含みます。







全国 定点把握感染症 2023年 第35、36週 (2023.8.28～9.10)

(定点当たり報告数)

		インフルエンザ/ COVID-19定点		小児科定点									眼科定点		基幹定点						
		<sup>1)</sup> イン フル エン ザ	<sup>2)</sup> 感 染 症 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	咽 頭 炎	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	<sup>3)</sup> ロ タ ウ イ ル ス 胃 腸 炎	<sup>4)</sup> 細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	<sup>5)</sup> ク ラ ミ ジ ア 肺 炎
35 週	愛媛県	3.03	17.57	.73	2.08	.89	4.00	.16	.43	.03	.54	.89			1.63						
	近 畿 県	香川県	1.00	15.09	.79	1.32	.50	4.61	.07	2.25		.14	.54			.20					
		徳島県	2.08	21.81	1.04	.70	.39	3.39		.65		.35	.61	.04		.75			.29		
		高知県	.59	18.41	2.00	.77	.69	1.88	.04	1.00	.04	.23	1.27	.04							
		全 国	2.56	20.50	.67	.97	1.35	3.19	.08	1.34	.02	.27	1.07	.05	.01	.60	.01	.01	.04	.03	
	北海道	1.43	20.25	1.33	.57	1.94	1.87	.12	.51	.02	.12	1.79	.01		.21					.09	
	東北	1.40	30.05	1.43	.20	.68	2.48	.09	1.55	.02	.29	2.71	.05		.19	.02	.02	.02	.03		
	関東	2.88	22.31	.37	.82	1.33	3.38	.07	1.24	.03	.26	.69	.06	.00	.80		.05	.04	.02		
	甲信越北陸	1.10	21.72	.95	.34	1.19	3.71	.08	1.80	.01	.23	1.19	.03	.02	.43	.02		.02	.04		
	東海	2.75	24.27	.45	.63	.75	2.73	.07	.47	.02	.22	.67	.07		.38		.03	.10	.05		
近畿	2.29	15.24	.38	2.18	1.77	2.80	.08	.57	.01	.23	.48	.06		.65	.03	.02	.06	.03			
中国四国	2.24	16.81	.94	.66	1.20	3.50	.07	1.77	.01	.32	.93	.02		.53			.08				
九州沖縄	4.09	16.39	.90	1.36	1.84	3.99	.11	2.93	.04	.40	1.92	.06	.05	.85			.02	.01			

(9.6集計)

36 週	愛媛県	4.85	19.30	.38	2.49	.86	4.05	.03	.62		.35	.81			1.63						
	近 畿 県	香川県	1.34	13.09	.79	1.11	.50	4.75	.04	2.29		.39	.50	.04							
		徳島県	6.86	19.78	.74	.52	.35	2.78		.83	.04	.26	.91					.14			
		高知県	3.11	19.05	1.54	.62	.96	1.85	.38	1.08	.04	.58	.96								
		全 国	4.48	20.19	.52	1.26	1.54	3.22	.11	1.38	.03	.27	.92	.05	.02	.65	.00	.03	.03	.02	
	北海道	1.55	17.90	.94	.88	1.41	1.56	.06	.41	.01	.14	1.11	.04	.03	.14			.04			
	東北	2.57	26.00	1.16	.17	.69	2.47	.10	1.64	.04	.28	1.92	.03		.20	.02			.02		
	関東	5.61	22.21	.30	1.06	1.56	3.33	.16	1.40	.02	.28	.62	.05	.02	.93	.01	.05	.02	.02		
	甲信越北陸	1.66	21.98	.59	.47	1.34	3.64	.06	1.62	.01	.25	1.00	.03	.02	.52		.08	.02			
	東海	4.54	23.14	.38	.74	1.08	2.63	.06	.56	.09	.24	.65	.05		.30			.03			
近畿	3.70	15.66	.34	2.71	2.06	2.99	.08	.45	.02	.24	.45	.05	.06	.63		.02	.06	.03			
中国四国	3.92	17.09	.58	.71	1.31	3.54	.11	1.87	.01	.32	.85	.04	.01	.37		.01	.04				
九州沖縄	6.83	17.50	.83	2.11	2.15	4.34	.10	2.91	.01	.37	1.85	.04	.01	1.16		.02	.04	.05			

(9.13集計)

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。  
 3) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。 4) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。  
 5) オウム病を除く。

